

グラフ新宿区

Graph Shinjuku City
[日本語版]

資料編 2012



新宿区の地勢

区の面積
18.23km²

区の標高
32.55m (区役所)
最高 44.6m (箱根山)
最低 4.2m (飯田橋付近)

区役所の位置
北緯 35 度 41 分 26 秒
東経 139 度 42 分 23 秒

新宿区の紋章・花・木

新宿区の紋章 [昭和42年3月制定]



古来から堅実さを表すといわれている菱形を原型に、新宿の「新」の一字を一筆で勢いよく描いたもので、新宿が将来に向かってますます堅実に発展していく意を表現するものです。

新宿区の花「つつじ」 [昭和47年10月制定]



つつじは、江戸時代から昭和初期まで大久保通りの周辺が名所で、見物用臨時列車が運転されたこともありました。

新宿区の木「けやき」 [昭和47年10月制定]



けやきは、武蔵野を代表する木で、新宿区内で最もよく見ることのできる木の一つです。

新宿区の人口(1)

※平成24年7月9日から、新たな在留管理制度の導入と住民基本台帳法の改正により、外国人の方に関する登録制度が変わりました。

新宿区の人口

318,086人

(平成24年1月1日現在)

住民基本台帳人口(13位/23区) 284,518人

外国人の人口(1位/23区) 33,568人

人口密度

17,448人/km²

(平成24年1月1日現在)

23区 14,333人/km²

東京都 5,985人/km²

昼間人口

750,120人

「平成22年国勢調査」

昼間人口とは

人口に、通勤・通学で新宿区に来る人数を加えて、通勤・通学で新宿区から出る人数を引いたもの。

自然動態

厚生労働省「平成22年人口動態調査」

出生数(生まれた人)

1年間で
2,164人

(平成22年1月~12月)

1日あたり 5.9人

死亡数(亡くなった人)

1年間で
2,450人

(平成22年1月~12月)

1日あたり 6.7人

社会動態

1年間で
1,930人の増加

(平成22年1月~12月)

1日あたり 5.3人

社会増(転入など)

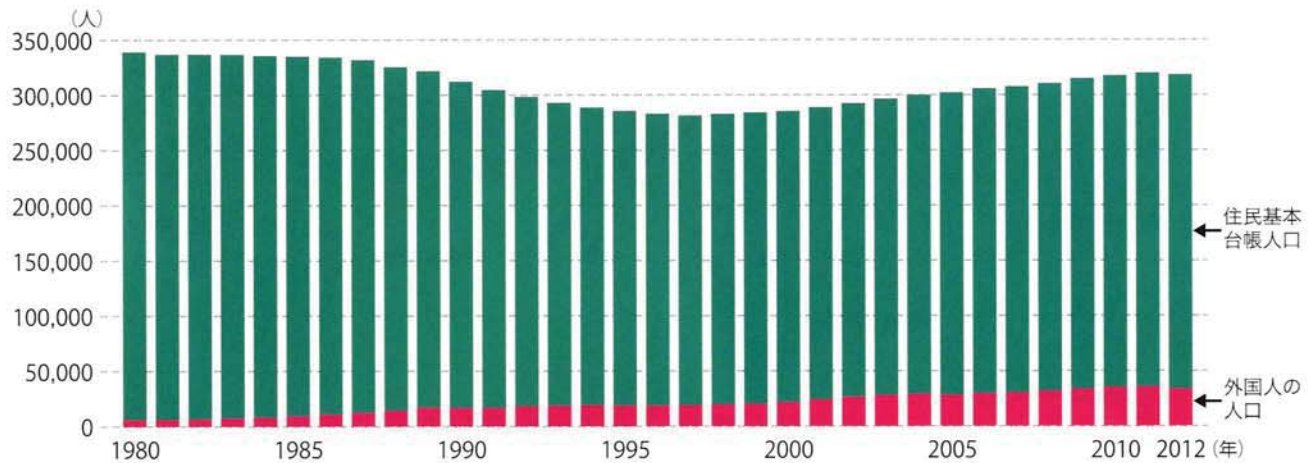
29,989人

社会減(転出など)

28,059人

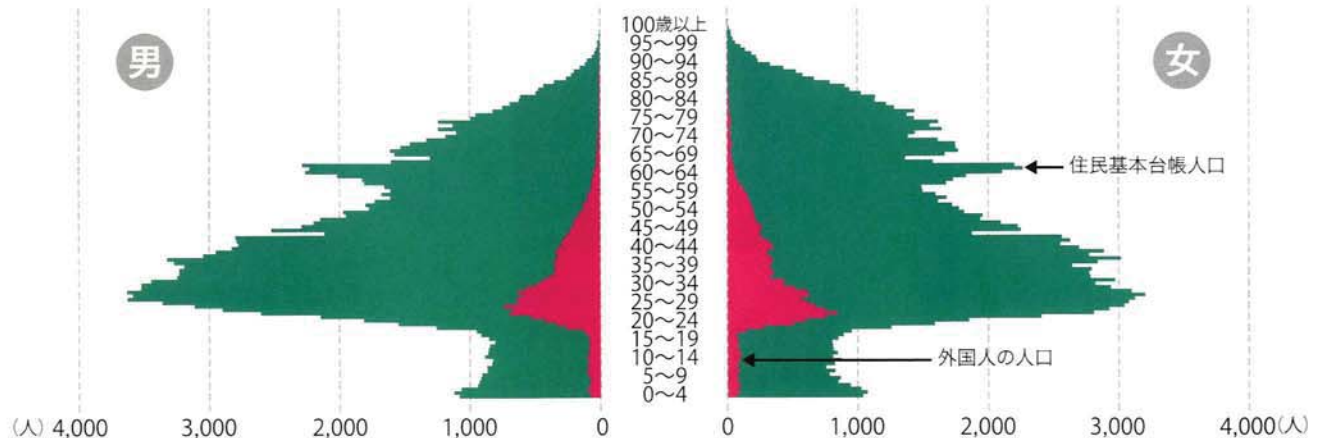
新宿区における住民基本台帳人口の推移

※人口は各年の1月1日時点



人口ピラミッド

(平成24年1月1日現在)



新宿区の人口(2)

区内主要駅の1日あたりの乗降客数

資料：平成22年度実績(JR東日本・私鉄各社・東京地下鉄・東京都交通局)
 ※JR線に示す順位は、JR東日本エリア内での乗降客数の1日平均の順位
 ※JR線の乗降客数は乗車人員の2倍として計算

新宿駅



3,506,716人/日

JR線(1位)	1,473,430人/日
東京地下鉄丸ノ内線	215,468人/日
都営地下鉄新宿線	263,982人/日
都営地下鉄大江戸線(新宿駅)	127,690人/日
都営地下鉄大江戸線(新宿西口駅)	52,033人/日
小田急線	476,773人/日
京王線	724,012人/日
西武新宿線(西武新宿駅)	173,328人/日

高田馬場駅

885,235人/日

JR線(10位)	404,792人/日
東京地下鉄東西線	184,754人/日
西武新宿線	295,689人/日

飯田橋駅

376,027人/日

JR線(44位)	180,726人/日
東京地下鉄東西線	66,108人/日
東京地下鉄有楽町線	69,256人/日
東京地下鉄南北線	32,596人/日
都営地下鉄大江戸線	27,341人/日

四ツ谷駅

279,615人/日

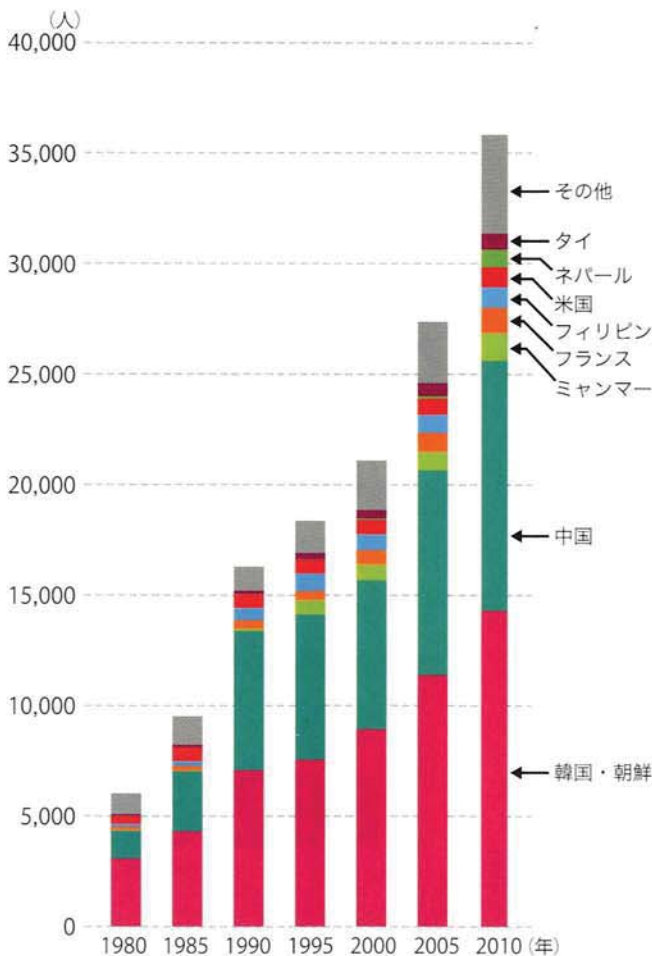
JR線(46位)	178,590人/日
東京地下鉄丸ノ内線	62,558人/日
東京地下鉄南北線	38,467人/日

市ヶ谷駅

329,525人/日

JR線(73位)	116,772人/日
東京地下鉄有楽町線	93,889人/日
東京地下鉄南北線	33,108人/日
都営地下鉄新宿線	85,756人/日

新宿区における外国人の人口と国籍



※新宿区の外国人の人口は33,568人(平成24年1月1日現在)。23区で一番多くなっています。



(平成24年1月1日現在)

新宿区のデータ(1)

区議会議員の数

38人

(平成24年4月1日現在)

定例会・臨時会の会期 82日(平成23年実績)

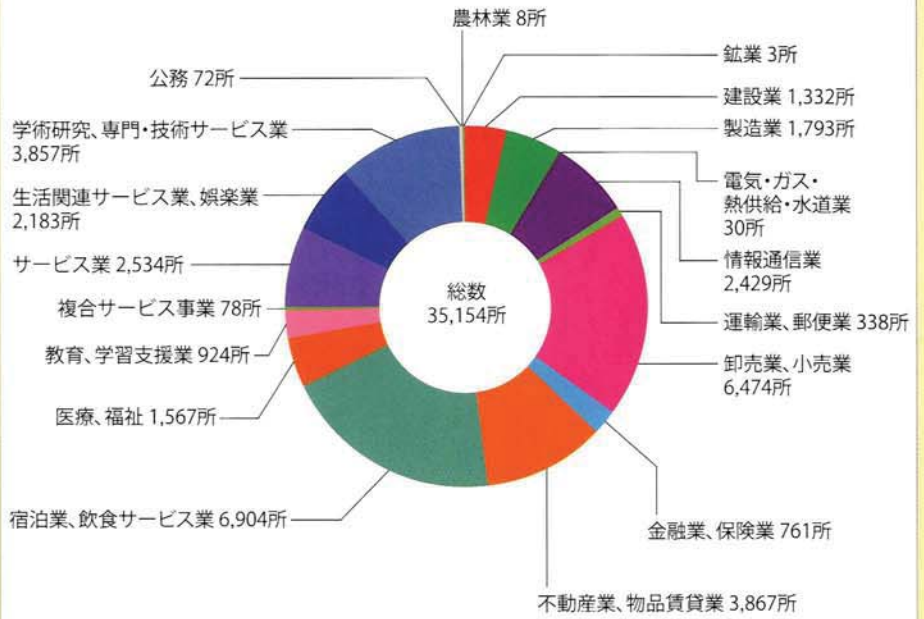
区の職員数

2,717人

(平成24年4月1日現在)

事務系	1,233人
技術系	365人
技能系・その他	287人
福祉系	663人
学校勤務	169人

産業大分類別の事業所の数



「平成21年経済センサス基礎調査」

(平成21年7月1日現在)

小売業

3,735所

(平成19年6月1日現在)

「平成19年商業統計調査」

7位
23区

小売業の年間商品販売額

「平成19年商業統計調査」

小売業(全体)

1,349,297百万円

(平成19年6月1日現在)

2位
23区

飲食店
宿泊業

6,904所

(平成21年7月1日現在)

「平成21年経済センサス基礎調査」

2位
23区

大規模小売店

828,961百万円

1位
23区

店舗数 **66**店

(平成19年6月1日現在)

1位
23区

製造業

(従業員4人以上)

405所

「平成22年工業統計調査」
(平成22年12月31日現在)

製品出荷額	23,890,730万円
*印刷・同関連産業(2位/23区)	287所
*染色整理業	4所

*新宿区の地場産業は印刷・製本関連業と染色業
*新宿区染色協議会の会員数は71名(平成23年度末現在)

町会・自治会の数

202団体

(平成24年5月1日現在)

新宿区の友好都市

4都市

(平成24年4月1日現在)

- 長野県伊那市
- ギリシャ・レフカダ市
- ドイツ・ベルリン市ミッテ区
- 中国・北京市東城区

区立図書館の蔵書数

882,661冊

(平成24年3月31日現在)

貸出点数	2,393,067点(平成23年度)
利用登録者数	104,880人

商店会の数

109団体

(平成24年5月1日現在)

新宿区のデータ(2)

新宿区内の川の延長

8,816_m

(平成24年3月31日現在)

神田川	6,404m
妙正寺川	2,412m
新宿区内の橋	76橋

新宿区内の道路

349,132_m

(平成23年3月31日現在)

国道	4,257m
都道	50,613m
区道	294,262m

新宿区の緑被率

17.87 %

10位
23区

「第7次みどりの実態調査」(平成22年度)

樹木・樹林	275.61ha
草地	41.61ha
屋上緑地	8.90ha

年間ごみ収集量

76,689_{トン}

(平成23年度)

年間資源回収量	20,549トン
---------	----------

区内の文化財

143_件

(平成24年6月1日現在)

有形文化財	70件	史跡	44件
有形民俗文化財	19件	天然記念物	2件
無形民俗文化財	8件		

専修学校・各種学校の数

70_校

1位
23区

(平成24年5月1日現在)

専修学校(国立・公立・私立)	54校
各種学校(私立)	16校

国際観光都市としての新宿区

全国における外国人旅行者の都市・観光地別訪問率(2010)



新宿
34.8 %

4位	大阪市	25.4%
5位	京都市	23.6%
6位	渋谷	23.3%
7位	秋葉原	21.6%
8位	原宿・明治神宮	19.4%
9位	皇居	18.9%
10位	上野	17.1%

日本政府観光局「JNTO訪日外客訪問地調査2010」

東京都における外国人旅行者の最も満足した街(2010)



新宿
13.1 %

4位	渋谷	6.3%
5位	上野	4.6%
5位	お台場	4.6%
7位	原宿	3.9%
8位	秋葉原	3.6%
9位	六本木	2.4%
10位	その他	2.4%

東京都「平成22年東京都観光客等実態調査」

新宿区内の超高層ビル

200m以上の超高層ビルの数



東京都「2011年建築統計年報」

3位	243.40m	東京都庁第一本庁舎	48階
7位	234.37m	東京オペラシティタワー	54階
8位	232.63m	新宿パークタワー	52階
9位	223.00m	新宿センタービル	54階
11位	212.00m	新宿住友ビル	52階
	209.90m	新宿野村ビル	53階
	209.40m	新宿三井ビル	55階
	203.65m	モード学園コクーンタワー	50階
	200.00m	損保ジャパン本社ビル	43階

195.23m	住友不動産新宿グランドタワー	40階
189.42m	新宿アイランドタワー	44階
183.83m	新宿オークタワー	38階
169.25m	京王プラザホテル本館	47階
167.43m	セントラルパークタワー・ラフォーレ新宿	45階
166.50m	新宿フロントタワー	35階
164.40m	KDDIビル	33階
163.30m	東京都庁第二本庁舎	34階
159.00m	コンシェルシア西新宿タワーズウエスト	44階
140.00m	エステック情報ビル	29階
139.90m	住友不動産西新宿ビルプラティース西新宿	33階
138.65m	京王プラザホテル南館	35階
138.00m	河田町コンフォガーデン(1号棟)	41階
133.70m	新宿NSビル	30階
133.00m	工学院大学	29階

130.80m	新宿国際ビルディング(ヒルトン東京)	38階
130.64m	シティタワー新宿新都心	37階
129.98m	ザ・センター東京	38階
124.00m	新宿エルタワー	31階
123.40m	新宿スクエアタワー	31階
123.35m	新宿モノリスビル	30階
123.16m	NTT東日本本社ビル	30階
117.10m	ハイアットリージェンシー東京・新宿第一生命ビル	28階
113.30m	大日本印刷市谷工場	25階
111.76m	西新宿三井ビルディング	27階
111.70m	パークヒオ新宿イーストサイドタワー	32階
110.00m	西早稲田パークタワー	31階
109.57m	新宿グリーンタワービル	29階
104.40m	プロスペクト・アクセス・ザ・タワー新宿	32階

※順位は東京都内におけるビルの高さ

都市像

新宿区都市マスタープランでは新宿駅周辺地区の目標を「人を魅せるまち」・「活力と文化の薫りあふれるまち」・「(わ)のまち^{*1}」としています。これらの目標を具体化するため、本ガイドラインでは、「人を魅せるまち」は賑わいと共に「わかりやすさ」を向上させること、「活力と文化の薫りあふれるまち」は「賑わいと交流のまち」とすること、「(わ)のまち」は「歩いて楽しいまち」とすることが必要であると考えました。これらを実現することで人が「まち」にたたくみ、人とふれあい、交流することにより、新宿の多様性などの魅力を維持向上させ、消費の活力回復、文化・情報発信等ポテンシャルの底上げを図ることが可能であると考えます。

これらから、基盤等(広場・道路における豊かな歩行者空間の確保とネットワーク化、たまり空間の確保、商業集積地等の賑わい空間への自動車の流入抑制)の再整備を行い、まちのコンテンツ(業務、商業、娯楽等)との連携(店舗と道路空間との一体的利用等)を深め、新宿駅周辺地区を「歩いて楽しい」+「賑わいと交流」の地区とし、「わかりやすいまち」として整備することを目指します。

*1 「(わ)のまち」とは、生活・文化・商業・遊びの空間を「輪(わ)」状につなげ、人波がしなやかに流れるようにするとともに、人と人がふれあい「和(わ)」みあるまち、環境に配慮した「環(わ)」境にやさしいまちを目指すことを意味しています。

賑わい空間の形成

・商業集積地を歩行者優先の地区として、さらなるまちの活性化に向け、以下を展開します。

1. 地上における歩きやすさの確保(歩車分離、商業集積地等の賑わい空間への自動車流入抑制、人中心の街路の再整備等)
2. 地下も含めた全天候型の歩行者空間の確保
3. テッキ・地下を併せた駅東西南北の高密度のネットワークを確保
4. たまり空間の確保
5. 東西の賑わい交流軸を特徴付け、わかりやすい街とする
6. 風格と活力が調和したまちなみ景観の形成

歩いて楽しいまち、賑わいと交流のまち
= 時間消費型地区

都市像

回遊性を高める
⇒歩いて楽しいまち

滞留しやすい
⇒賑わいのまち
⇒交流のまち

歩いて楽しいまち

賑わいと交流のまち

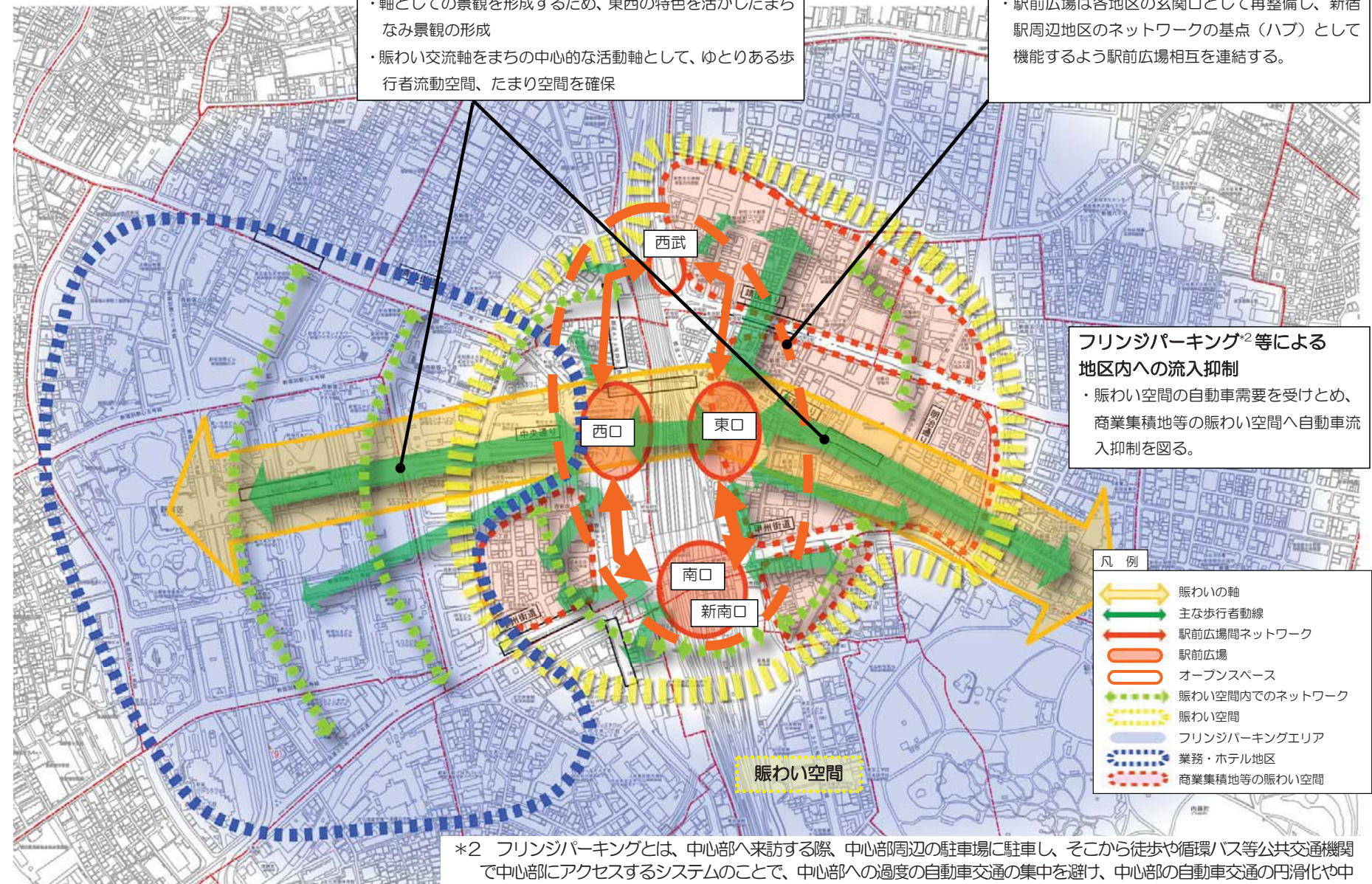
わかりやすいまち

回遊性を高める、滞留しやすい
⇒わかりやすいまち

「わかりやすいまち」;賑わい交流軸の整備
・軸としての景観を形成するため、東西の特色を活かしたまちなみ景観の形成
・賑わい交流軸をまちの中心的な活動軸として、ゆとりある歩行者流動空間、たまり空間を確保

駅前広場の再整備とネットワーク化
・駅前広場は各地区の玄関口として再整備し、新宿駅周辺地区のネットワークの基点(ハブ)として機能するよう駅前広場相互を連結する。

フリッジパーキング²等による地区内への流入抑制
・賑わい空間の自動車需要を受けとめ、商業集積地等の賑わい空間へ自動車流入抑制を図る。



*2 フリッジパーキングとは、中心部へ来訪する際、中心部周辺の駐車場に駐車し、そこから徒歩や循環バス等公共交通機関で中心部にアクセスするシステムのことです。中心部への過度の自動車交通の集中を避け、中心部の自動車交通の円滑化や中心部への自動車交通量の縮減を図るものです。



新宿駅周辺地区整備ガイドラインの展開イメージ図

凡例

- : 整備方針
- : 整備に向けた検討を実施
(※)は関係機関(東京都・警視庁等)と検討を行う事項
- : 進行中事業の推進

- : フリンジパーキングを誘導する地域
- : 商業の集積地
- : 重点施策(事業進行中)重点施策
- : 幹線道路(既設)
- : 幹線道路(駅中心部アクセス路)
- : 幹線道路(計画・構想)
- : 通過交通を抑制する路線
- : 歩行者動線
- : 事業中の幹線道路

A「歩いて楽しいまち」の実現

整備方針：まちなみの再整備

○まちなみ景観の向上を図るように誘導を行っていく
具体的な方策⇒街路空間、広告物等のデザインへの配慮
⇒緑化

整備方針：歩行者動線と自動車動線の輻輳緩和

○幹線道路網へ通過交通の転換を図っていく
具体的な方策⇒新宿通りの通過交通を放射6号線等へ
転換させる可能性の検討
⇒西口広場の通過交通を副都心8,9号線へ
転換させる可能性の検討

整備方針：歩行者動線と自動車動線の輻輳緩和

○賑わい空間における歩車分離を図っていく
具体的な方策⇒地下駐車場ネットワークやフリンジパーキング等実施
の可能性の検討

整備方針：人中心の道づくりへ向けた道路空間の再整備

○荷捌き・路上駐車対策の実施により街路空間をより歩行者へ開放し
ていく。荷捌き施設の形態は地区の性質により選択していく。
具体的な方策⇒タイムシェア
⇒ポケットローディング等の整備
⇒建替え時に共同荷捌き場を確保 等

B「賑わいと交流のまち」の実現

整備方針：歩行者の回遊性とネットワーク化

○回遊性の向上を図っていく
具体的な方策⇒駅前周辺地区、地区内のネットワーク化による
回遊性の確保の検討

整備方針：たまり空間の確保

○たまり空間の整備を進めていく
具体的な方策⇒まちの玄関口としての駅前広場における
「たまり空間」の整備の検討

C「わかりやすいまち」の実現

整備方針：顔としての広場、軸を意識したメリハリと
特徴をつけたまち空間の再整備

○特徴ある街路空間の形成を図っていく
具体的な方策⇒賑わい交流軸、緑の回廊等まちの軸となる駅前広
場、街路(新宿通り、4号街路)の特徴づけとして
の緑化やその他街路等公的空間として位置の認識
をしやすくして、まちのわかりやすさの向上を図る
検討

4号街路整備(※)

- 歩いて楽しいまち A: 風格と活力が調和したみどり豊かなまちなみ景観を形
成する
- 賑わいと交流のまち B: 地区相互のネットワーク化による回遊性の確保
- 賑わいと交流のまち B: 主要街路における滞留空間の確保
- わかりやすいまち C: 西口地区の賑わい交流軸形成

西口駅前広場整備(※)

- 歩いて楽しいまち A: 幹線道路への通過交通の転換
- 歩いて楽しいまち A: 地下駐車場ネットワークの構築による歩車分離
- 賑わいと交流のまち B: 西口地区の玄関口として歩行者中心の広場へ整備
- 賑わいと交流のまち B: 縦動線の整備による各層の機能分担及び連携強化
- 賑わいと交流のまち B: 周辺の商業地区の連携を図る
- わかりやすいまち C: 活動の中心となる顔としての広場の再整備

東西自由通路整備事業の推進

B: 東西地区の回遊性の向上による商業地域の連
携強化を図る

循環バスの運営

歩いて楽しいまち A: 徒歩以外の移動手段として、まちの動向を踏
まえて循環バスの運行ルートを充実させる

駐車場整備計画の見直し

歩いて楽しいまち A: フリンジ駐車場整備の促進
A: 荷捌き車対策、自動二輪車対策

地区計画

- 歩いて楽しいまち A: 景観形成
- 賑わいと交流のまち B: たまり空間の新たな整備
- わかりやすいまち C: 駅前広場、主要街路に特徴をつけたまち空間の再整備

靖国通り地下通路(※)

- 歩いて楽しいまち A: 地下駐車場ネットワークの構築による
歩行者動線と自動車動線の輻輳を緩和
- 賑わいと交流のまち B: 駅と歌舞伎町地区、新宿三丁目地区の
歩行者ネットワーク化

新宿通りモール化(※)

- 歩いて楽しいまち A: 新宿通りの通過交通を転換させて歩きやすい歩行者
空間を確保する
- 歩いて楽しいまち A: 風格と活力が調和したみどり豊かなまちなみ景観を
形成する
- 賑わいと交流のまち B: 賑わい交流軸を中心とした歩行者動線のネットワ
ーク化による回遊性を確保する
- わかりやすいまち C: 賑わい交流軸を人中心の街路として再整備する

駅街路10号整備

- 賑わいと交流のまち B: 地区間等のネットワーク化による回遊性の向上
- わかりやすいまち C: 賑わいのある人中心の街路として整備

東口駅前広場整備(※)

- 賑わいと交流のまち B: 東口地区の玄関口として歩行者中心の広場へ整備
- 賑わいと交流のまち B: 周辺の商業地区の連携を図る
- わかりやすいまち C: 活動の中心となる顔としての広場の再整備

東西自由通路整備の実現に向けて

平成9年～

埼京線の高田馬場駅停車断念後は、新宿駅東西自由通路の開設に目的を一本化し、運動を展開することとなりました。

平成12年2月の国による甲州街道の「新宿跨線橋架替工事」を皮切りに、「新宿駅南口基盤整備事業」が本格的に動き出し、地元の関心も南口を中心とした新宿駅全体の将来計画に移ってきました。

同盟としては、こうした周辺動向に迅速に対応する必要があり、平成13年7月31日に名称を「東西自由通路等新宿駅周辺整備促進同盟」に変更し、東西自由通路の開設を軸として、駅前広場の整備による新宿駅東口、西口、南口の連携強化、及び回避性向上を目的としました。

同盟は、新宿駅周辺の動向を踏まえつつ、東西自由通路開設の早期実現に向けて、要請活動、PR活動を行い、その機運を高めてきました。

新宿区としても、この間、国、東京都及び鉄道事業者との検討委員会を設置するなど、事業化に向けた取り組みを続けてきました。

こうした様々な取り組みを通じて、平成20年6月23日、新宿区と東日本旅客鉄道株式会社で「新宿駅東西自由通路整備に関する基本協定」を締結し、平成24年9月26日工事着手する運びとなりました。



東西自由通路の整備について

(1) 検討経緯

新宿駅東西自由通路については、東西の連絡のために必要な施設として、地元からの要望も含めて、これまで粘り強く様々な活動に取り組んできました。

東西自由通路の実現に向けた本格的な検討は、昭和60年から実施されており、線路上空を通す案や、現在のJR青梅通路の北側に設置する案など、多様な案が検討されてきましたが、新宿区はJR東日本との協議の結果、早期実現を最優先に現況の青梅通路(17m)を8m拡幅し、幅員25mとすることで合意に至りました。

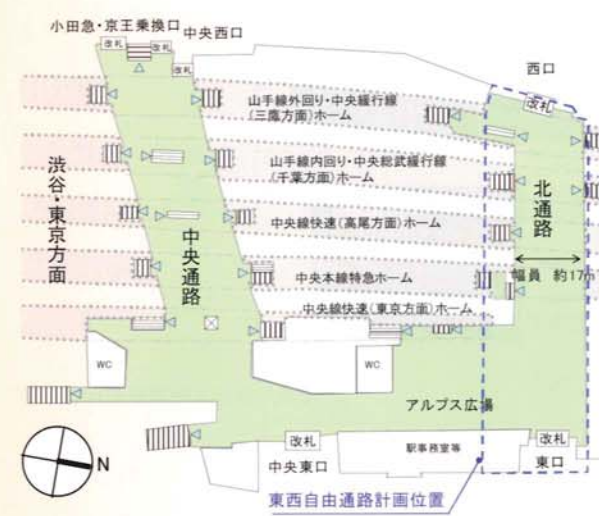
東西自由通路の事業着手は、同盟をはじめとした地元の方々の熱い思いや働きかけとともに、国や東京都など関係者による助言や協力の結果、ようやく実現したものです。

(2) 事業概要

- | | |
|---------|------------------------|
| ① 事業主体 | 東日本旅客鉄道株式会社 |
| ② 整備地 | JR新宿駅構内 北通路(青梅通路) |
| ③ 延長・幅員 | 延長 約100m 幅員 約25m |
| ④ 総事業費 | 約115億円(JR単独事業に要する費用含む) |
| ⑤ 事業方法 | 区及び国の補助事業を活用 |
| ⑥ 工事着手 | 平成24年9月 |
| ⑦ 使用開始 | 平成32年頃 |

【東西自由通路計画】

【現状(地下1階平面図)】



【計画(東西自由通路整備後)】



- 【凡例】
- 改札内通路
 - ホーム(地上1階)
 - 自由通路
 - エスカレーター
 - エレベーター

現時点での計画であり、今後、レイアウトおよびデザイン等を変更する可能性があります。

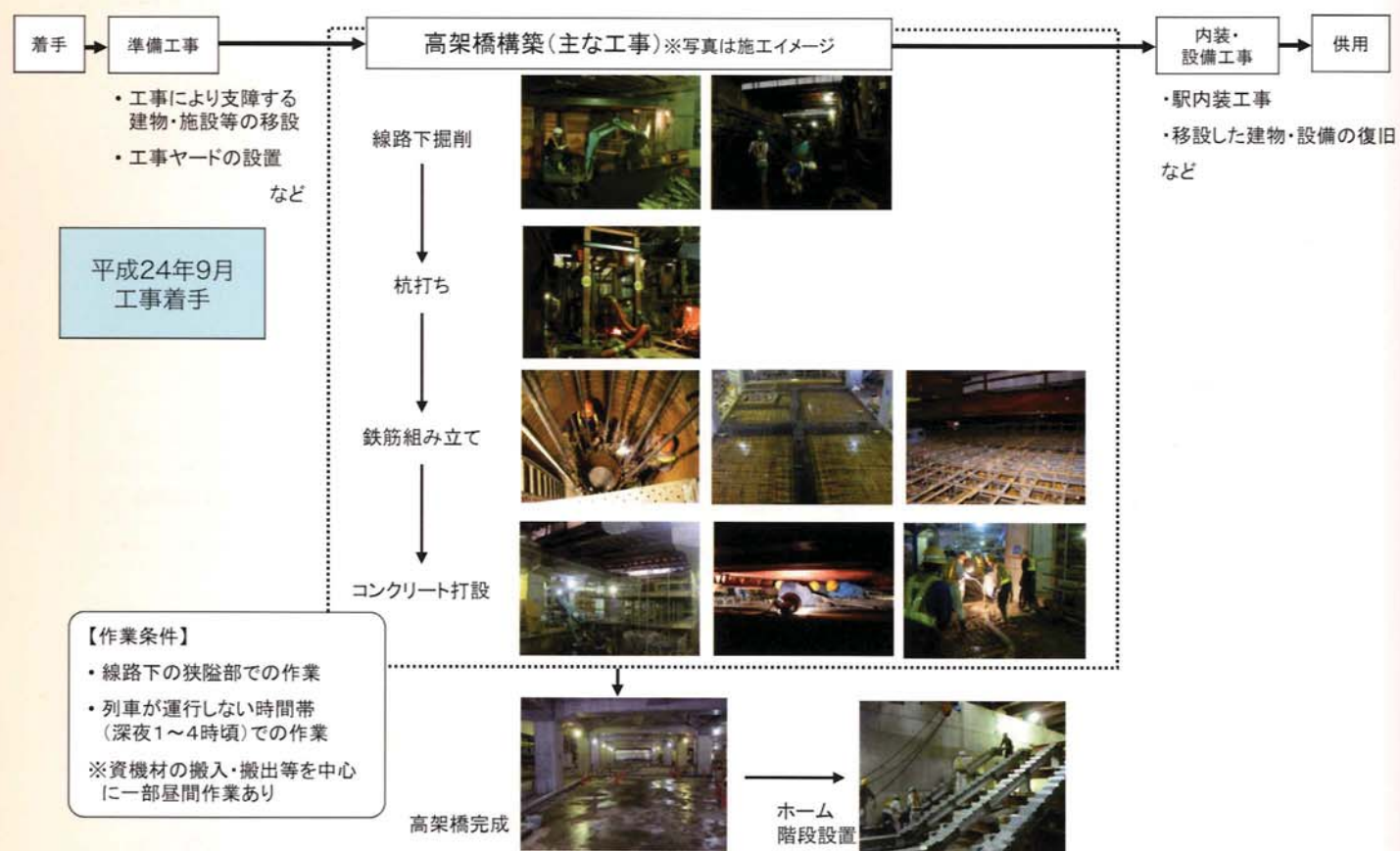
出典：東日本旅客鉄道株式会社



東西自由通路イメージ

出典：東日本旅客鉄道株式会社

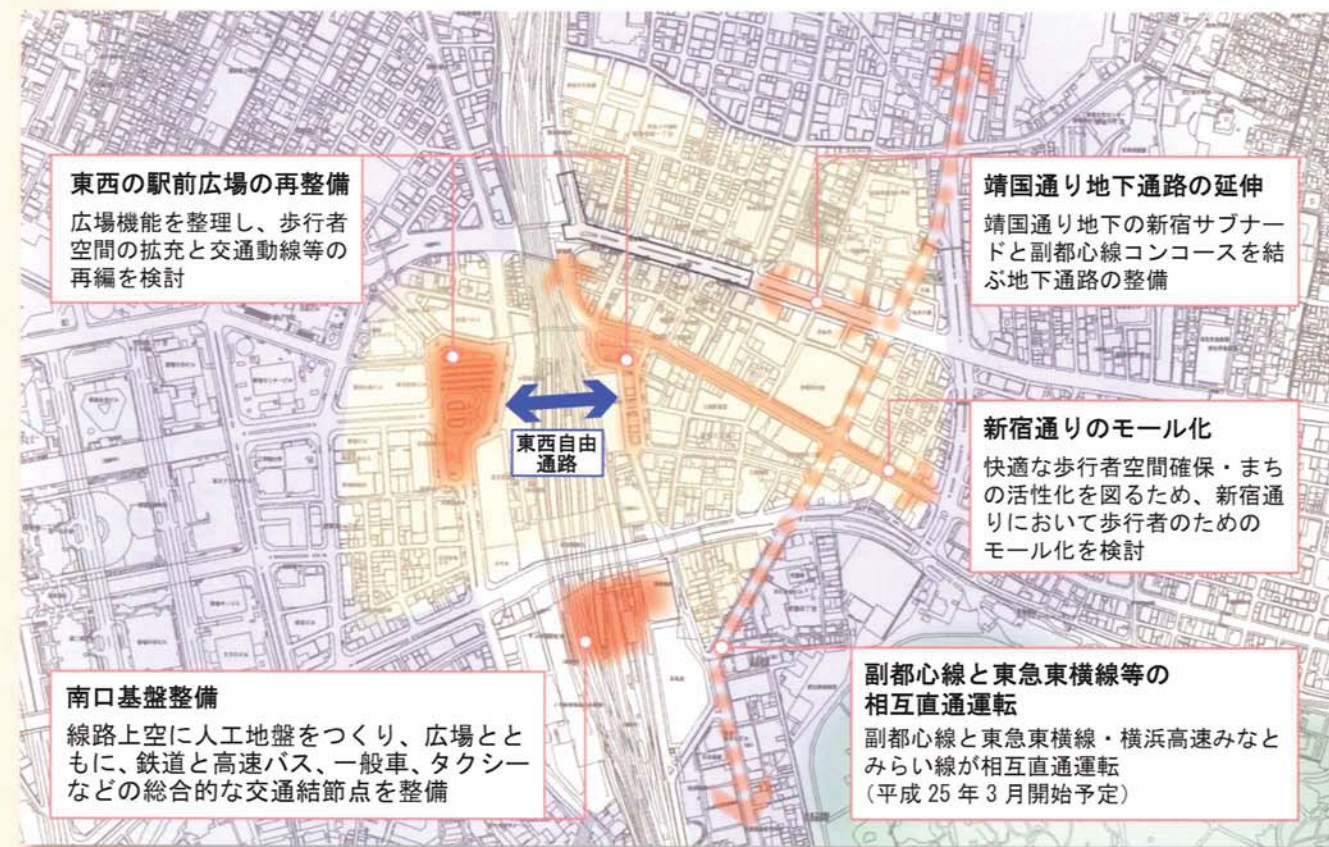
工事の施工手順



出典：東日本旅客鉄道株式会社

まちの動き

新宿駅周辺においては、東西自由通路の整備の他に以下のまちづくり計画等が進められています。



(1) 新宿駅周辺の動き —地下鉄路線の新設—

新宿駅周辺においては、昭和61年3月の埼京線新宿駅開業以降、大江戸線、副都心線の2路線が新設され、新宿へのアクセスの利便性向上に大きく寄与しています。

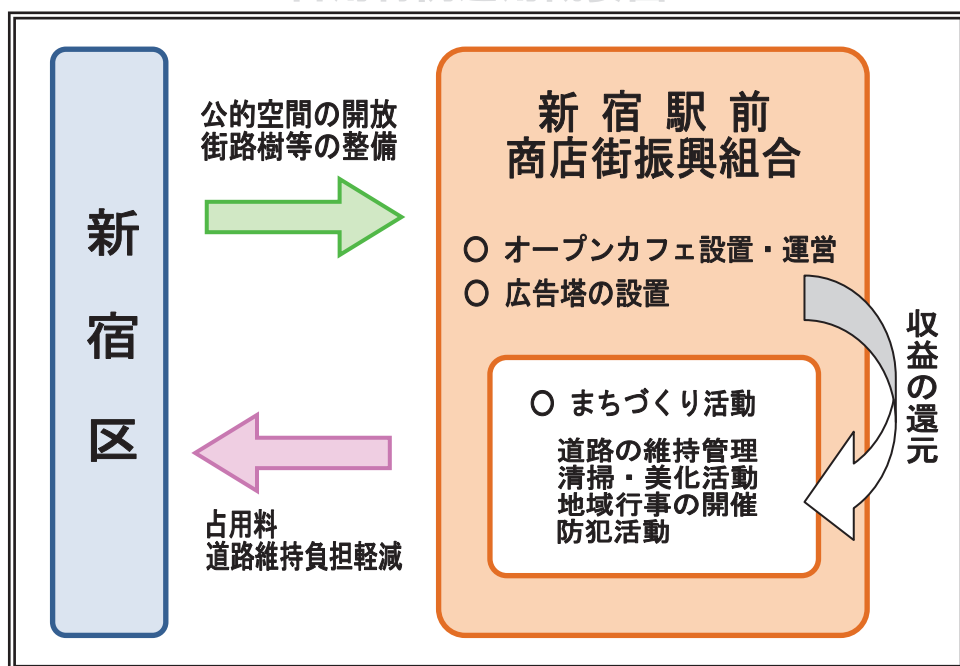
① 都営大江戸線開業

平成12年12月12日に全線開業し、都庁前駅から練馬区の光が丘駅までの放射部と、都内主要駅を反時計回りに回遊し都庁前駅に至る環状部から構成されています。

道路占用特例を活用した取組みによる効果

- 1 まちのにぎわいと魅力的な道路空間を創出を目的として、道路上にオープンカフェ（食事施設）と広告塔を設置します。
- 2 占用主体における道路環境整備（清掃等）を実施、地域との協働による、まちづくり制度が確立します。
- 3 違法駐車や駐輪が解消され、道路の環境が改善されます。
- 4 オープンカフェや広告塔の収益は、まちづくりや地域の活動に還元されます。

占用特例適用概要図



Moa 4 Cafe ご案内

◆ オープンカフェ実施時間
 4月～9月 平日 : 午後3時から午後9時30分
 日曜・休日 : 午後0時から午後6時
 10月～3月 平日 : 午後3時から午後7時30分
 日曜・休日 : 午後0時から午後5時
 店舗は、平日も午後0時から営業いたします。

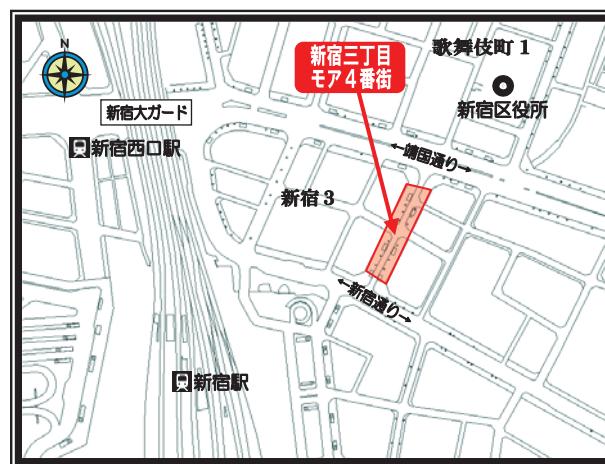
1号店
靖国通り側

MENU

- クレープ各種
 ホットクレープ (温かいクレープ)
 コールドクレープ (冷たいクレープ)
 スナッククレープ (ツナ・チキン等)
- ガレット各種
- ソフトクリーム
- ドリンク各種
 ホットドリンク (コーヒー・紅茶)
 アイスドリンク (コーヒー・紅茶)
 (ピーチティー他)

2号店
新宿通り側

案内図



平成25年10月

R100 古紙配合率100%再生紙を使用

道路を活用した オープンカフェ

新宿三丁目 **モア4** 番街 Mixture of Ages 4th Street



新宿区 ・ 新宿駅前商店街振興組合

新宿三丁目モア4番街 社会実験と検証

新宿三丁目のモア4番街は、違法駐車や駐輪等、道路の不正な利用が目立ち、新宿駅東口の玄関口としてふさわしい環境が損なわれていました。このため、新宿区では、まちの賑わい創出と違法駐車防止のため、新宿駅前商店街振興組合と協力し、平成17年から社会実験として道路占用許可の運用上の特例により、オープンカフェを実施してきました。

社会実験の効果



にぎわいの創出・道路環境の改善



オープンカフェの実施に併せて、各種イベントも開催し、新たな道路の活用による、にぎわいの創出も実現しました。



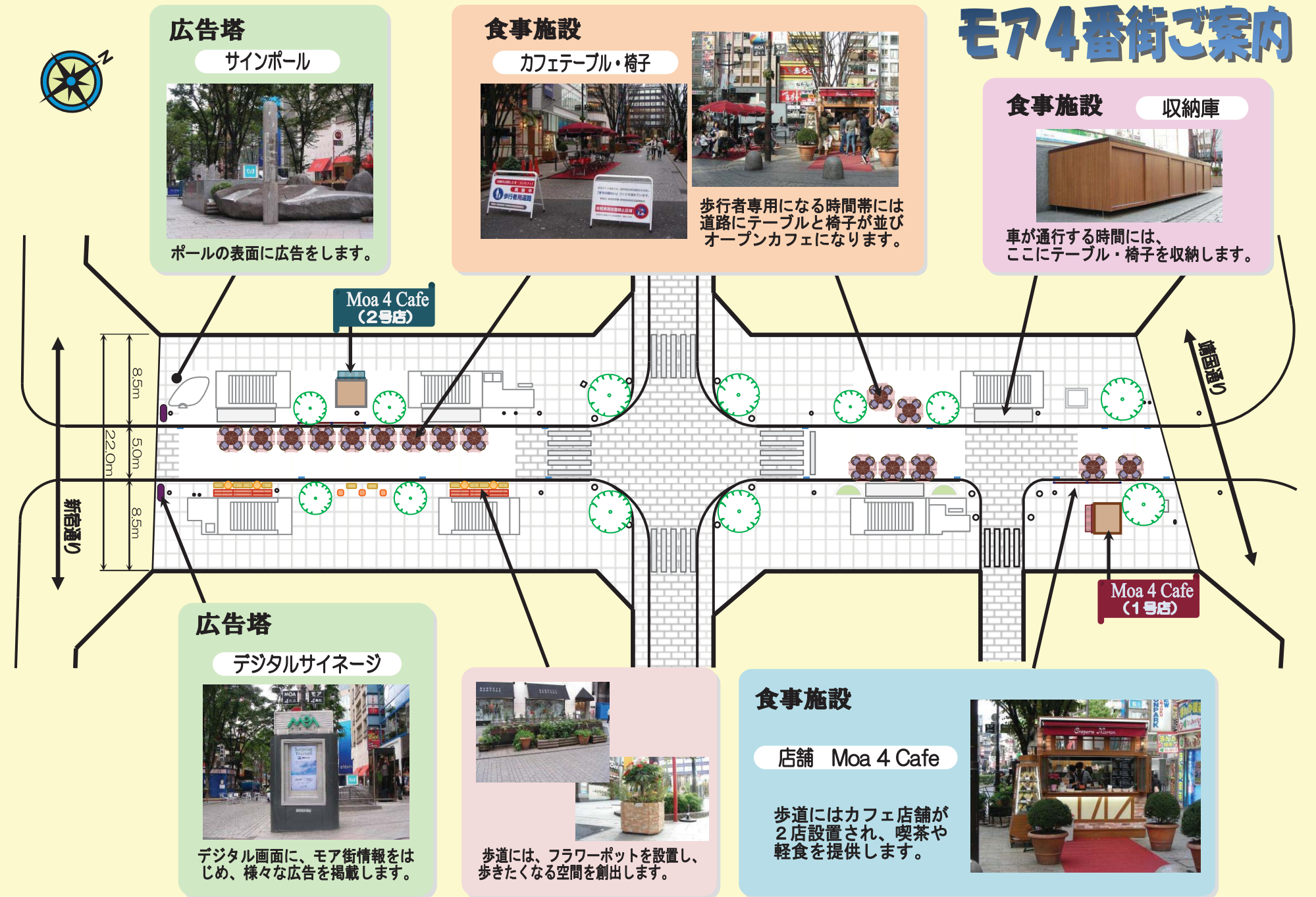
新宿クリエイターズ・フェスタ



美濃和紙あかりアート展

平成23年10月に都市再生特別措置法等が改正施行され、道路上に食事施設の設置ができるようになりました。新宿区では、同法による手続きを進め、都市再生特別措置法に基づく特例制度を活用したオープンカフェが設置されました。特例制度運用事例としては、全国初となります。

モア4番街ご案内



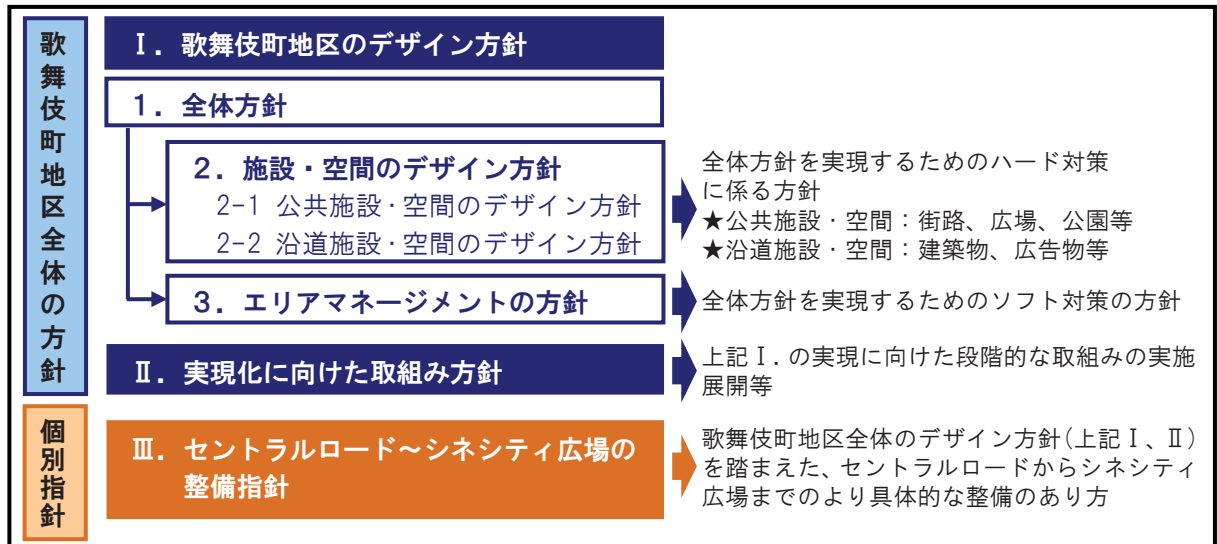
3 まちづくりプロジェクト(快適で魅力あふれるまちづくり)

歌舞伎町ルネッサンスでは、平成 19 年に策定した「歌舞伎町まちづくり誘導方針」に基づき、道路や公園などのインフラを整備する等、快適で魅力あふれるまちづくりを進めています。

(1) 歌舞伎町街並みデザインガイドラインの策定

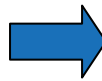
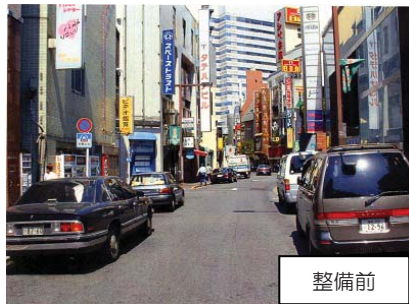
平成 25 年 4 月、歌舞伎町の街路整備や景観形成の指針となる「歌舞伎町街並みデザインガイドライン」を策定いたしました。今後、このデザインガイドラインに沿って、セントラルロードとシネシティ広場を整備します。

(歌舞伎町街並みデザインガイドラインの構成)



(2) 道路の整備等

- ① 歌舞伎町・花道通りの歩道を拡幅することで、快適な歩行者空間を確保するとともに、迷惑な違法駐車を排除しました。

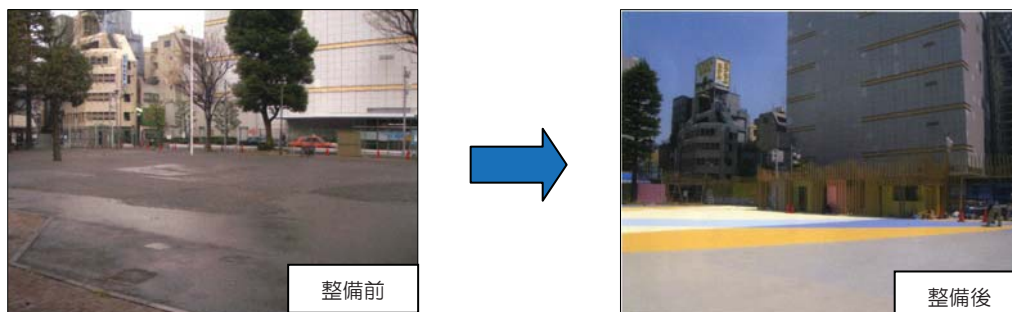


- ② 歌舞伎町を訪れる外国人観光客の方々に、このまちを楽しんで歩いていただけるよう、多言語案内板（日本語、英語、中国語、韓国語）を設置しました。



(3) 大久保公園の整備

平成 22 年 6 月、区立大久保公園をイベント公園としてリニューアル（地面のアスファルト舗装、電源及びトイレの整備等）しました。現在、憩いの場としてだけでなく、様々なイベントを開催するなど、幅広く利用されています（P.5 参照）。



(4) その他民間開発

平成 27 年春、旧新宿コマ劇場跡地に、歌舞伎町の新たなランドマークとなる「新宿東宝ビル」がオープンします。このビルには、都内最大級のシネマコンや約 1,000 の客室を誇るホテル、飲食店舗などがテナントとして入る予定で、歌舞伎町の新たな賑わい創出の拠点となることが期待されています。この他、シネシティ広場に面した一角で、APA ホテルの建設工事が進んでいます。こちらも平成 27 年春にオープン予定です。



完成予定図

（今後変更になる可能性があります）

【新宿東宝ビル】

階数：地下 1 階、地上 30 階、塔屋 2 階

高さ：130.25m

用途：1～2 階 飲食店舗他

3～7 階 シネマコンプレックス（12 スクリーン、約 2,500 席）

8～30 階 ホテル（約 1,000 室）